

① 優良環境住宅整備事業

【事業概要】

子育て世帯等が住みたいと感じる優良な住環境を備えた民間マンションの供給を誘導するため、一定の建設ガイドラインを満たす優良な民間マンションを対象に、「子育てへの支援」「環境への配慮」に要する費用に対して補助を行っている。

- ・事業採択要件：建設ガイドライン及び大阪市建築物総合環境評価制度（CASBEE大阪）のAランク以上（5段階評価の上位2ランク）等の条件を満たす良質な民間マンションを対象
- ・補助対象：「子育てへの支援」「環境への配慮」に要する費用に限定して補助
 子育てへの支援：キッズルーム・児童遊園の設置 等
 環境への配慮：緑化の推進、ヒートアイランド対策、新エネルギー機器の採用 等
- ・補助限度額：戸当たり80万円



【実績】

新規事業採択 17年度：3地区（556戸）
 18年度：1地区（600戸）

② 子育て安心マンション認定制度

【制度概要】

新築の分譲マンションや賃貸マンションを対象に、安全に配慮した室内や共用部の仕様や子育てを支援するサービスの提供など、ハード・ソフト両面での基準を満たす優良なマンションを「子育て安心マンション」として認定し、住まい情報センター等においてマンションを購入する子育て層等に広く情報発信を行う。

【認定基準】

- 住戸内の仕様：バリアフリー化、シックハウス対策、扉の事故防止対策 等
- 共用部の仕様：キッズルーム・児童遊園の設置 等
- 子育て支援サービス：保育サービスや家事サポートサービス 等



キッズルーム



バリアフリー化



子育て支援サービス

【実績】

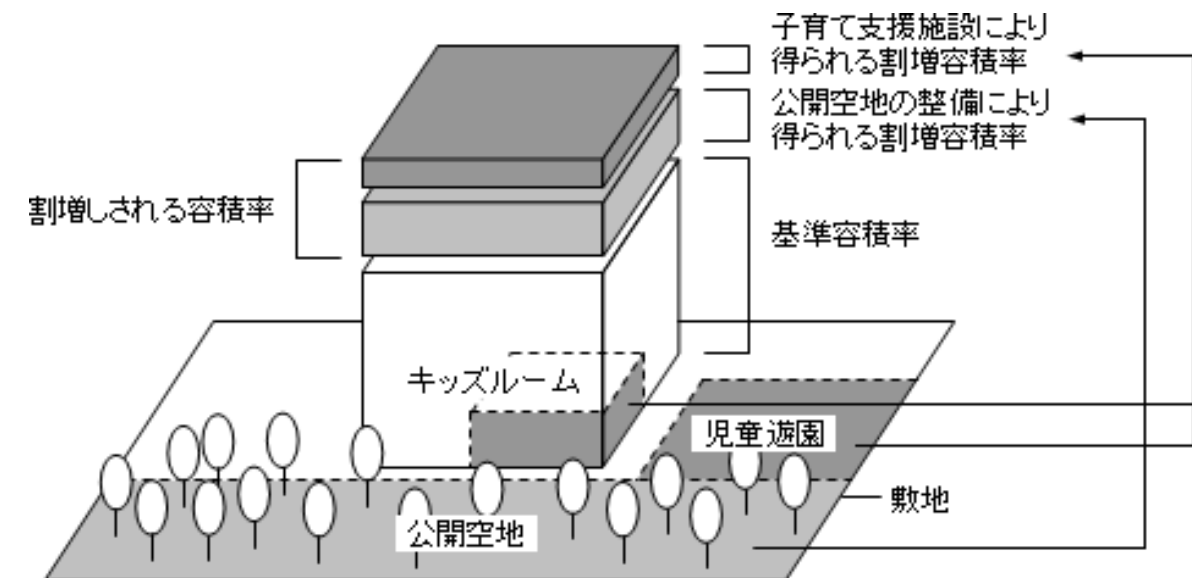
計画認定 17年度：2件（411戸）
 18年度：2件（602戸）

③ 子育て支援施設誘導型容積ボーナス制度

【制度概要】

子育て安心マンション認定制度の適用建築物で総合設計制度を活用する場合、建物内に設けられたキッズルームや児童遊園といった「子育て支援施設」について、一般的な公開空地により割増される容積率に加え、「子育て支援施設」の面積に応じて容積率の割増を行う。18年7月制度創設。

【制度概要図】



④ ハウジングデザイン賞

【ハウジングデザイン賞の概要】

ハウジングデザイン賞は、市内に良質な都市型集合住宅の建設を促進するとともに、広く市民の方々や住宅供給に携わる人々の住宅に対する意識の向上を図るため、大阪市内で建設された魅力ある良質な都市型集合住宅を表彰し、その優れた面を明らかにするものである。

【受賞建物の特徴】

- ・現代長屋TEN（東淀川区）
 住まい手が主体となって住まいづくりに取組んだコーポラティブ方式で、道路沿いに建設された連棟3階建ての定期借地権付き住宅である。細長い敷地に連なる建物正面も、形状や色彩を工夫し変化に富んだものとなっている。コーポラティブ制度の学習を深める一方、ゆるやかな全体の枠組みのもと、各戸の設計は4事務所が分担するなどして、住まい手の意思に沿った間取りや空間の検討、木工・土壁などのワークショップの実施体験など、住まい手の好みを生かす住宅づくりに関係者の努力が重ねられ、それぞれに個性に満ちたすまいとなっている。



- ・ガーデンハイツ加美（平野区）〔大賞〕

既存の楠の大木を中心とした中庭を3方から抱くように5棟に分棟された住宅が配置された計画で、建物のボリューム感が分散され、ゆったりとした雰囲気を感じさせている。住戸は独立性と可変性が考慮され、広さは60~125㎡、間取りもメゾネット型住戸が用意されるなど多様で、100㎡を超える住戸が20%を占めており、しかも、低廉な家賃で提供されていることなど、総合的に優れ、生涯を託すに足る賃貸住宅の先進例として高く評価できる。



（18年10月 住宅審議会現地視察実施）